

神戈陵を渡る風2

令和4年度 川辺高校 校長通信 第056号(通算)

令和4年5月27日(金)発行

5月も残すところあと数日。間もなく6月。和名では、水無月(みなづき), 葵月(あおいづき), 風待月(かぜまちづき), 常夏月(とこなつづき)等と言われます。この時期は、「湿度が高くて苦手」という人も多いと思いますが、この「湿気」があるからこそ、ホテル観賞が楽しめるのを知っていましたか? 鮮やかな色彩の紫陽花(あじさい)が見られるのも、この季節です。晴れの日も晴れを、雨の日も雨を楽しむ。こうありがたいものですね。

校長散策 2

鹿児島には3ヶ所、可愛(えの)山稜、吾平(あいら)山上陵、高屋(たかや)山上陵が神代三稜として明治7年(1874)に指定されています。

旧制川辺中学校時代の本校校歌の冒頭は、「高千穂(たかちほ)笠沙(かさ)神代(かみよ)より…」と始まります。これは、南薩に残る神話を表した表現で、この神代三稜は、初代天皇である神武(ジヌム)天皇の曾祖父であるニニギノミコトのお墓(陵:ミサギ)が薩摩川内市の可愛山稜、祖父のホオリノミコトいわゆる山幸彦のお墓(陵)が霧島市の高屋山上陵、父のウガヤフキアエズのお墓が鹿屋市の吾平山上陵(陵)ということになり、宮内庁が公認する「神」のお墓(陵)となります。鹿児島には、多くの神話が残っています。こうやって、神話の舞台を訪ねてみるのも楽しいものです。



私は、昨年末から、この神代三山稜巡りを行っており、5月4日に、初めて吾平(あいら)山上陵をお参りしてきました。新緑のなか、5月の風がとてもすがすがしく、リフレッシュできました。



なぎなた部 激励

令和4年5月9日(月)

以前より、本校卒業生の中園幸男様からなぎなた部に対して活動支援を頂いております。今回も過分なるご支援をありがとうございます。



春の地区大会の様子

令和4年5月10日(火)・11日(水)



野球部



弓道部



テニス部



卓球部

今回の地区大会は、フォートツノ様に撮影協力をお願いしました。(撮影時間帯の都合で全チームではありませんので、あしからず)

全校朝礼で教育実習生紹介

令和4年5月23日(月)



とうぼうゆめか
當房夢佳先生
(金峰中出身, なぎなた部)
国際武道大学4年
実習期間: 5/16~6/3

なぎなた部インターハイ出場決定

令和4年5月21日(土)

川辺が全国切符 団体
なぎなた
夏の間、練習を繰り返して、団体試合は川辺が関分中央に一本も許さずに優勝し、全国の切符を手にした。上校は「先鋒の平が積極的な姿勢でチームに勢いを吹き込んだ。今年こそ夢の日本一をつかおうと意気込んだ。春の全国高校選抜大会は前年の準優勝に続き、今年も3位と好成績を収めた。一方で夏の全国高校総体の最高は5位にとどまる。選手は、入団の2枚看板が必要。総体までにチームの底上げを図りたい。」

団体試合の次鋒、川辺・上校「左・ガメンを襲う」
「林崎市総合体育館は、田チームから主力の上校と迫は、小学1年から地元クラブで互いに競い合い成長してきた。「目の前の試合に集中して悔いのない夏にしたい」。練習をサボりたくない。OGたちへの感謝を胸に、技をまだまだ磨く。(堀 巨)

団体試合の次鋒、川辺・上校「左・ガメンを襲う」
「林崎市総合体育館は、田チームから主力の上校と迫は、小学1年から地元クラブで互いに競い合い成長してきた。「目の前の試合に集中して悔いのない夏にしたい」。練習をサボりたくない。OGたちへの感謝を胸に、技をまだまだ磨く。(堀 巨)